

7月1日（月），2日（火）体育館において「中学校きもの授業」を2年生を対象に行いました。これは「日本時代衣裳文化保存会」が主催する事業で，本校では家庭科の学習の一環として行っています。今回「小林豊子きもの学院」から4名の講師の方が来校され，生徒にきものについての知識や，浴衣の着方を教えてくれました。1日1，2時間目は2年2組，3，4時間目は2年3組，2日の1，2時間目は2年1組の生徒達が真剣に講師の先生方の説明を聞き，浴衣の着付けやたたみ方にトライしていました。



2組の様子

今回ご指導いただいた4名の講師の皆様，丁寧に着付けの手順や着物の知識を教えていただき，1人ひとりに優しく声を掛け，着付けをご指導いただき本当にありがとうございました。上手く浴衣が着られて誇らしそうにする生徒達の顔が印象的でした。生徒達にとって忘れられない新たな発見と貴重な体験となりました。



3組の様子



1組の様子

感想

◎日本人として浴衣の文化を授業で聞いて良かった。浴衣を着たことがなかったので，細かい手順にそって着るのに時間がかかり難しかった。礼の仕方も今までしていたものと違うことがわかった。今度お祭りに行くときに，友達と浴衣を着て行こうと思った。（2年男子）

◎浴衣を着るという貴重な体験ができて光栄でしたし，とても楽しかったです。浴衣の着方を始め，時代による衣服の素材の移り変わりを教えてもらい勉強になりました。きもの学院の先生方，ありがとうございました。（2年女子）